

区市町村 (No)	1 検査方法及び対象												2 受診率			
	胃部エックス線	対象	ペプシノーゲン	対象	胃部エックス線+ ペプシノーゲン	対象	胃内視鏡	対象	胃部エックス線 +胃内視鏡	対象	その他 (検診方法名)	対象	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較
1	○	40歳以上					○	40歳以上					15,160	2,111	13.9%	以上
2	○	40歳以上											34,005	8,151	24.0%	以上
3	○	35歳以上											63,511	18,530	29.2%	以上
4	○	20歳以上											99,105	10,429	10.5%	未満
5	○	40歳以上											61,707	6,387	10.4%	未満
6	○	35歳以上											62,725	1,047	1.7%	未満
7	○	35歳以上											83,197	2,438	2.9%	未満
8	○	35歳以上											149,846	6,235	4.2%	未満
9	○	35歳以上											114,267	4,789	4.2%	未満
10	○	35歳以上											86,189	1,879	2.2%	未満

区市町村 (No)	2 受診率(ペブシノーゲン)				2 受診率(胃内視鏡検査)				分 析	対策1		対策2	
	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較		受診率が低い集団に対する 対策	都への要望	受診率向上に向けた全体的な 対策	都への要望
1					15,160	1,916	12.6%	以上					
2													
3													
4									・該当なし	・受診率を年代別に算出し、特に受診率が低いと見られる年代には受診勧奨を行う。 ・受診勧奨ハガキの送付対象者を従来(40～75歳の5歳刻み)よりも拡大する。			
5									・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・40歳の対象者に対して検診受診の勧奨ハガキを送付する。			
6									・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。			・22年度からは、対象者に個別通知で受診勧奨を行う。	
7									・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。			・がん検診リーフレット。 ・個別通知。 ・がんパネル展の開催。	
8									・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。			・検診車による集団検診から医療機関による個別検診への切替を検討している。	・受診勧奨のポスターを作成し、公共交通機関等に掲示してほしい。
9									・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・対象者全員への個別通知。 ・未受診者への受診勧奨と状況把握調査。 ・普及啓発も入れた分かりやすい検診案内。			
10									・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。				

区市町村 (No)	(1)集計作業(検診対象者)		(2)集計作業(受診者の情報管理)					3 要精検率			3 要精検率(ペプシノーゲン)			3 要精検率(胃内視鏡検査)			分析	(1)集計作業(要精検率)				
	台帳作成	均等な 受診勧奨	性・年齢 階級別	受診者別 データ	検診機関別	過去3年間 受診歴別	過去3年間 受診歴記録	要精検者数	要精検率	全国 比較	要精検者数	要精検率	全国 比較	要精検者数	要精検率	全国 比較		要精検率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別		
1			○	○	○		○	159	7.5%	未満				177	9.2%	未満	・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。			○	○	○
2	○	○	○	○	○	○	○	1,891	23.2%	高い							・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。 ・陽性反応適中度が低い医療機関がある。 ・各検診実施機関の「要精検」の判定基準が確認できていない。			○	○	○
3		○	○	○	○		○	1,863	10.1%	未満							・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。			○	○	
4			○	○				1,783	17.1%	高い							・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。			○	○	
5			○		○			781	12.2%	高い							・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。 ・陽性反応的中度が低い医療機関がある。			○	○	
6		○	○	○	○		○	198	18.9%	高い							・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。			○	○	○
7			○	○	○			365	15.0%	高い							・がん発見率が高い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。			○	○	
8	○		○	○	○			473	7.6%	未満							・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・がん発見率が低い。			○	○	○
9	○	○	○					969	20.2%	高い							・がん発見率が高い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。			○	○	○
10			○	○	○		○	271	14.4%	高い							・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。			○	○	

区市町村 (No)	(2)胃部エックス線撮影精度管理				(2)胃部エックス線読影精度管理				4受診者への説明(区市町村実施)				4受診者への説明(医療機関実施) (満たしている機関/検診実施機関)				5 精検受診率と受診勧奨				
	撮影機器の 種類	撮影枚数 7枚以上	日本消化器がん 検診学会基準を 満たした方法	造影剤副作 用に留意	撮影技師の 認定取得	2名以上の 医師で読影	比較読影	3年間保存	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検 受診率	全国 比較
1	5/5	4/5	3/5	5/5	3/5	2/5	5/5	5/5					3/5	5/5	5/5	4/5	28	14	117	73.6%	以上
2	4/5	5/5	4/5	5/5	4/5	4/5	4/5	5/5					4/5	4/5	5/5	5/5	0	1,755	136	7.2%	未満
3	5/5	5/5	5/5	5/5	3/5	0/5	3/5	5/5					5/5	4/5	4/5	5/5	218	102	1,543	82.8%	以上
4	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5					4/5	4/5	5/5	4/5	0	1,144	639	35.8%	未満
5	5/5	4/5	5/5	5/5	3/5	1/5	3/5	5/5					5/5	3/5	5/5	5/5	0	0	781	100.0%	以上
6	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	0/2	0/2	1/1	○		○						0	31	167	84.3%	以上
7	4/5	5/5	5/5	5/5	3/5	5/5	4/5	5/5	○		○		4/5	4/5	5/5	5/5	64	43	258	70.7%	以上
8	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1	19	69	385	81.4%	以上
9	2/2	2/2	2/2	2/2	1/2	2/2	2/2	2/2					1/2	1/2	2/2	1/2	0	603	366	37.8%	未満
10	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	2/5	5/5	5/5					5/5	4/5	5/5	5/5	0	25	246	90.8%	以上

区市町村 (No)	2 都への要望
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

区市町村 (No)	対策3	集計作業(精検受診率)			集計作業(精検未受診率と受診勧奨)				集計作業(精検結果未把握率)			6 がん発見率			6 がん発見率(ペプシノーゲン)			6 がん発見率(胃内視鏡検査)		
	精検結果把握の方法について 特別な対策	精検受診率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	精検 未受診率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診勧奨	未把握率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較
1	平成20年度から検診実施医療機関から要精検者に対し「がん検診情報提供書兼結果通知書」を交付している。この通知書により精検実施機関から検査結果を報告してもらっている。	○	○						○			3	0.14%	以上				5	0.26%	以上
2		○	○	○					○	○	○	8	0.10%	未滿						
3		○	○		○	○			○			9	0.05%	未滿						
4		○	○							○		10	0.10%	未滿						
5	検診と合わせて委託している。	○	○									15	0.23%	以上						
6		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	0.10%	未滿						
7	医療機関との契約書に精検結果把握について明文化している。	○	○		○	○			○	○		7	0.29%	以上						
8		○	○	○	○	○	○		○	○	○	5	0.08%	未滿						
9		○										12	0.25%	以上						
10		○	○		○				○			2	0.11%	以上						

区市町村 (No)	分析	集計作業(がん発見率)				集計作業(早期がん割合)				7 陽性反応適中度		7 陽性反応適中度 (ペプシノーゲン)		7 陽性反応適中度 (胃内視鏡検査)		分析	集計作業(陽性反応適中度)			
		がん発見率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度把握		性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	
1		○	○					1.89%	以上					2.82%	以上		○			
2	・他の検診実施機関と比較して、がん発見率が特に低い検診実施機関がある。 ・精検受診率が許容値と比較して低い。	○	○	○				0.42%	未滿							・がん発見率が低い。 ・精検受診率が低い。	○	○	○	
3	該当なし	○	○					0.48%	未滿							・がん有病率が高い年齢階級の受診者が少ない。 ・がん発見率が低い。	○	○		
4	・精検受診率が許容値と比較して低い。	○						0.56%	未滿							・がん発見率が低い。 ・精検受診率が低い。	○			
5		○	○					1.92%	以上								○			
6	・受診者の年齢階級で、有病率の低い年齢階級の受診者が多い。	○	○	○				0.51%	未滿							・がん有病率が高い年齢階級の受診者が少ない。 ・がん発見率が低い。	○	○	○	
7		○	○					1.92%	以上								○	○		
8	・受診者の年齢階級で、有病率の低い年齢階級の受診者が多い。	○	○	○				1.06%	以上								○	○	○	
9		○						1.24%	以上								○			
10		○	○	○				0.74%	未滿							・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○	

区市町村 (No)	課題等	備考	備考 (点検表)	備考欄 (町村 5年分受診者数)
1	<ul style="list-style-type: none"> 検診方法の検討 検診機関精度管理の検討 一次検診受診時の説明 			
2	<ul style="list-style-type: none"> 検診機関精度管理の検討 一次検診受診時の説明 要精検受診結果の把握 検診機関の要精検判定基準の把握 			
3	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 検診機関精度管理の検討 一次検診受診時の説明 受診者特性の検討 			
4	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 がん検診の必要性周知と受診率の向上 一次検診受診時の説明 要精検受診結果の把握 			
5	<ul style="list-style-type: none"> がん検診の必要性周知と受診率の向上 検診機関精度管理の検討 一次検診受診時の説明 			
6	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 がん検診の必要性周知と受診率の向上 検診機関精度管理の検討 一次検診受診時の説明 受診者特性の検討 			
7	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 がん検診の必要性周知と受診率の向上 検診機関精度管理の検討 			
8	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 がん検診の必要性周知と受診率の向上 受診者特性の検討 			
9	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 がん検診の必要性周知と受診率の向上 検診機関精度管理の検討 一次検診受診時の説明 要精検受診結果の把握 			
10	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 がん検診の必要性周知と受診率の向上 検診機関精度管理の検討 一次検診受診時の説明 			

区市町村 (No)	1 検査方法及び対象												2 受診率			
	胃部エックス線	対象	ペプシノーゲン	対象	胃部エックス線+ ペプシノーゲン	対象	胃内視鏡	対象	胃部エックス線 +胃内視鏡	対象	その他 (検診方法名)	対象	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較
11	○	35歳以上											229,418	6,277	2.7%	未満
12	○	35歳以上											273,476	12,897	4.7%	未満
13	○	35歳以上											68,534	5,959	8.7%	未満
14	○	35歳以上の 偶数年齢	○	35～75歳の 奇数年齢									98,432	5,086	5.2%	未満
15	○	35歳以上											169,283	3,393	2.0%	未満
16	○	30歳以上											83,229	2,675	3.2%	未満
17	○	35歳以上											117,219	4,147	3.5%	未満
18	○	35歳以上											69,204	12,079	17.5%	以上
19					○	35歳以上 (ペプシノーゲン検 査は35～65歳 の奇数年齢の 区民が同時にで きる)							174,689	6,023	3.4%	未満
20	○	30歳以上											225,209	17,775	7.9%	未満

区市町村 (No)	2 受診率(ペブシノーゲン)				2 受診率(胃内視鏡検査)				分 析	対策1		対策2	
	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較		受診率が低い集団に対する 対策	都への要望	受診率向上に向けた全体的な 対策	都への要望
11									・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・検診人数に制限を設けているが、平成22年度については、予定数増を検討している。			
12									・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・前年度受診者に対し、引き続き受診勧奨通知を実施していく。			
13									・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・22年度より申込み方式から受診券発送方式へ変更予定。22年度は全対象者へ送付予定。			
14	98,432	5,114	5.2%	未満					・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。 ・指針以外の検査方法で実施している年齢がある。	・特定年齢に対する受診勧奨通知や受診票の送付等により受診を促す。 また、指針に基づく検査方法に改め実施する。			
15									・不明	・定期的な検診の必要性や実施日程等を区の広報誌・ホームページなどにより周知。			
16									・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・広報等で受診率の低い集団へ勧奨する。	・各市区町村の受診率向上対策について補助する。		
17									・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・申込者に対し受診忘れのないよう再通知する。	・財政援助、検診のPRをお願いします。 ・婦人科検診とタイアップしたPR、または同等のPRをお願いします。		
18													
19									・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・検診車による集団検診のため受診者数に限りがある。対策は特に立てていない。			
20									・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。			・区が実施する健康診査の対象となる(30歳代、40歳以上)全区民に対して、がん検診の案内を同封している。区が実施する健康診査の対象とならない人には、誕生日により3回に分けて案内を送付している。	

区市町村 (No)	(1)集計作業(検診対象者)		(2)集計作業(受診者の情報管理)					3 要精検率			3 要精検率(ペプシノーゲン)			3 要精検率(胃内視鏡検査)			分析	(1)集計作業(要精検率)				
	台帳作成	均等な 受診勧奨	性・年齢 階級別	受診者別 データ	検診機関別	過去3年間 受診歴別	過去3年間 受診歴記録	要精検者数	要精検率	全国 比較	要精検者数	要精検率	全国 比較	要精検者数	要精検率	全国 比較		要精検率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別		
11			○		○			1,387	22.1%	高い									・がん発見率が高い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○
12			○	○	○		○	2,760	21.4%	高い									・がん発見率が高い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○
13	○		○	○	○		○	732	12.3%	高い									・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。 ・陽性反応適中度が低い医療機関がある。	○	○	○
14			○	○	○		○	580	11.4%	高い	504	9.9%	未滿						・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。	○	○	○
15	○		○	○	○			509	15.0%	高い									・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	
16			○					147	5.5%	未滿									・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・がん発見率が低い。	○	○	
17	○	○	○	○	○	○	○	857	20.7%	高い									・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○		
18	○	○	○	○	○		○	1,033	8.6%	未滿									・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○		○
19			○					1,648	27.4%	高い									・がん発見率が高い。	○	○	
20			○		○			2,277	12.8%	高い									・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	

区市町村 (No)	(2)胃部エックス線撮影精度管理					(2)胃部エックス線読影精度管理			4受診者への説明(区市町村実施)				4受診者への説明(医療機関実施) (満たしている機関/検診実施機関)				5 精検受診率と受診勧奨				
	撮影機器の 種類	撮影枚数 7枚以上	日本消化器がん 検診学会基準を 満たした方法	造影剤副作 用に留意	撮影技師の 認定取得	2名以上の 医師で読影	比較読影	3年間保存	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検 受診率	全国 比較
11	5/5	4/5	5/5	5/5	0/2	5/5	5/5	5/5					5/5	4/5	5/5	4/5	56	72	1,259	90.8%	以上
12	4/5	5/5	4/5	5/5	3/5	4/5	4/5	5/5	○				5/5	5/5	5/5	5/5	0	306	2,454	88.9%	以上
13	2/2	2/2	1/2	1/2	2/2	1/2	1/2	2/2		○		○	2/2	2/2	1/2	2/2	29	162	541	73.9%	以上
14	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					5/5	5/5	5/5	2/5	241	0	339	58.4%	未滿
15	4/4	4/4	4/4	3/4	1/4	1/4	2/4	4/4	○	○	○	○	4/4	2/4	4/4	3/4	0	212	297	58.3%	未滿
16	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	○				1/1	1/1	1/1	1/1	22	65	60	40.8%	未滿
17	5/5	5/5	4/5	5/5	3/5	3/5	5/5	5/5					5/5	5/5	5/5	5/5	0	281	576	67.2%	未滿
18	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	1/2	1/2	2/2	○	○	○	○	0/1	1/1	0/1	0/1	430	0	603	58.4%	未滿
19	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1	74	521	1,053	63.9%	未滿
20	1/1	1/1	0/1	1/1	1/1	0/1	0/1	1/1					1/1	0/1	0/1	0/1	不明	不明	不明	不明	不明

区市町村 (No)	5 精検受診率と受診勧奨(ペプシノーゲン)					5 精検受診率と受診勧奨(胃内視鏡検査)					分析	対策I		対策
	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検 受診率	全国 比較	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検 受診率	全国 比較		精検結果把握の方法について 対策	都への要望	
11														
12														
13														
14	176	0	328	65.1%	未満						・受診しない理由が明らかになっていない。			・受診勧奨通知回数が増及び未受診理由の書式による提出。
15											・検診実施機関、精検実施機関との情報提供体制ができていない。 ・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。	・精検医療機関が広範囲に分散し、結果通知の送付を徹底するのは難しい。		
16											・情報提供体制はできているが、国への報告時期までに、精検結果について情報が得られない。	・医師会に更なる協力を依頼する。		
17											・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。 ・情報提供体制はできているが、国への報告時期までに、精検結果について情報が得られない。			
18											・特になし			・特になし
19											・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。	・受診の把握ができない者に問合わせ勧奨する。	・医療機関からの情報提供を義務化する等の体制整備。	
20											・検診実施機関、精検実施機関との情報提供体制ができていない。	・受診率の向上対策に取り組んでいるため、精検結果把握の具体的対策まで手が回っていない。		

区市町村 (No)	2 都への要望
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	特になし
19	
20	

区市町村 (No)	対策3 精検結果把握の方法について 特別な対策	集計作業(精検受診率)			集計作業(精検未受診率と受診勧奨)				集計作業(精検結果未把握率)			6 がん発見率			6 がん発見率(ペプシノーゲン)			6 がん発見率(胃内視鏡検査)		
		精検受診率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	精検 未受診率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診勧奨	未把握率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較
11	特になし	○	○		○	○		○	○		14	0.22%	以上							
12	①本人への結果通知とともに精検受診結果書と依頼文を同封し返信用封筒とともに医療機関へ持参させる。 ②3ヵ月後に本人あて勧奨を行い、受診の有無等回答依頼する。 ③手術等で医療機関がわかれば、がんの追跡調査を行う。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	22	0.17%	以上							
13	特になし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6	0.10%	未満							
14		○	○	○	○	○	○	○	○	○	4	0.08%	未満	8	0.16%	以上				
15		○									0	0.00%	未満							
16		○									2	0.07%	未満							
17		○	○	○					○	○	5	0.12%	以上							
18		○		○				○			15	0.12%	以上							
19		○						○			25	0.42%	以上							
20											不明	不明	不明							

区市町村 (No)	分析	集計作業(がん発見率)				集計作業(早期がん割合)				7 陽性反応適中度		7 陽性反応適中度 (ペプシノーゲン)		7 陽性反応適中度 (胃内視鏡検査)		分析	集計作業(陽性反応適中度)				
		がん発見率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度把握		性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別		
11		○	○						1.01%	以上							○	○			
12		○	○						0.80%	未滿							○	○		・がん有病率が高い年齢階級の受診者が少ない。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	
13	・受診者の年齢階級で、有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。	○	○	○	○				0.82%	未滿							○	○	○	○	・がん有病率が高い年齢階級の受診者が少ない。 ・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。
14	・精検受診率が許容値と比較して低い。	○	○	○		○	○		0.69%	未滿	1.59%	以上					○	○	○	○	・がん発見率が低い。 ・精検受診率が低い。
15	・受診者の年齢階級で、有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・精検受診率が許容値と比較して低い。	○							0.00%	未滿							○				・がん有病率が高い年齢階級の受診者が少ない。 ・がん発見率が低い。 ・精検受診率が低い。
16	・精検受診率が許容値と比較して低い。	○	○	○					1.36%	以上							○	○	○		
17		○	○						0.58%	未滿							○	○	○	○	・がん有病率が高い年齢階級の受診者が少ない。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。 ・精検受診率が低い。
18		○		○		○	○		1.45%	以上							○				
19		○							1.52%	以上							○				
20	・精検受診のデータを把握していない。								不明	不明											・がん有病率が高い年齢階級の受診者が少ない。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。

区市町村 (No)	課題等	備考	備考 (点検表)	備考欄 (町村 5年分受診者数)
11	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 がん検診の必要性周知と受診率の向上 検診機関精度管理の検討 一次検診受診時の説明 			
12	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 がん検診の必要性周知と受診率の向上 検診機関精度管理の検討 			
13	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 がん検診の必要性周知と受診率の向上 検診機関精度管理の検討 一次検診受診時の説明 受診者特性の検討 			
14	<ul style="list-style-type: none"> 検診方法の検討 対象年齢の検討 がん検診の必要性周知と受診率の向上 一次検診受診時の説明 精検未受診理由把握と精検受診率の向上 			
15	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 がん検診の必要性周知と受診率の向上 検診機関精度管理の検討 要精検受診結果の把握 受診者特性の検討 			
16	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 がん検診の必要性周知と受診率の向上 要精検受診結果の把握 	<ul style="list-style-type: none"> 精検受診把握の情報提供体制はできているが、報告時期までに情報が得られない 		
17	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 がん検診の必要性周知と受診率の向上 検診機関精度管理の検討 要精検受診結果の把握 			
18	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 検診機関精度管理の検討 精検未受診理由把握と精検受診率の向上 			
19	<ul style="list-style-type: none"> 検診方法の検討 対象年齢の検討 がん検診の必要性周知と受診率の向上 要精検受診結果の把握 			
20	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢の検討 がん検診の必要性周知と受診率の向上 検診機関精度管理の検討 一次検診受診時の説明 要精検受診結果の把握 	<ul style="list-style-type: none"> 精検結果未把握 		

区市町村 (No)	1 検査方法及び対象											2 受診率				
	胃部エックス線	対象	ペプシノーゲン	対象	胃部エックス線+ ペプシノーゲン	対象	胃内視鏡	対象	胃部エックス線 +胃内視鏡	対象	その他 (検診方法名)	対象	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較
21			○	35歳以上 ピロリ検診時 に同時実施 (区直営)												
22	○	35歳以上	○	区特定健診の 40・50・60歳で 希望者のみ									149,789	2,577	1.7%	未満
23	○	30歳以上											206,493	11,404	5.5%	未満
24	○	35歳以上											166,702	7,146	4.3%	未満
25	○	35歳以上											52,674	1,556	3.0%	未満
26	○	35歳以上											40,377	6,106	15.1%	以上
27	○	30歳以上											51,517	1,378	2.7%	未満
28	○	35歳以上											44,610	2,679	6.0%	未満
29	○	30歳以上											70,819	3,314	4.7%	未満
30	○	30歳以上											34,987	1,348	3.9%	未満

区市町村 (No)	2 受診率(ペブシノーゲン)				2 受診率(胃内視鏡検査)				分 析	対策1		対策2	
	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較		受診率が低い集団に対する 対策	都への要望	受診率向上に向けた全体的な 対策	都への要望
21	223,061	2,922	1.3%	未満					・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。			(ピロリ検診) ・区報や区HPによる積極的な広報の実施。応募期間を細かく設定し、募集を頻繁に行う。	
22	149,789	1,446	1.0%	未満					・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・毎年(年1回)土・日検診日を行い平日忙しい若年層の受診者を取り込む。		・やや良質の用紙で「がん検診のメニュー表」のようなものを作成し、各戸に配布する。	
23									・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・受診対象者への周知の徹底(広報・町会回覧・個別通知)。			
24									・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。				
25									・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・受診率が低い層は、70歳以上の高齢者である。既に医療管理下等にあることが予想され、対策を講じるのが不適當な場合がある。	・受診率50%を目標に掲げているが、実際はそれを各自治体に押し付けているだけに感じる。都はどの市区町村にも先立って、がん検診をアピールしていかなくてよいのだろうか。		
26													
27									・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・広報にがん検診の特集を掲載し、受診勧奨している。			
28									・地域別に、受診率が低い地域がある。	・具体的対策無。			
29									・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・周知方法の改善。 ・受診勧奨。	・がん検診受診啓発。		
30									・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。			・予算の増額要求を継続的に実施。	

区市町村 (No)	(1)集計作業(検診対象者)		(2)集計作業(受診者の情報管理)					3 要精検率			3 要精検率(ペプシノーゲン)			3 要精検率(胃内視鏡検査)			分析	(1)集計作業(要精検率)			
	台帳作成	均等な 受診勧奨	性・年齢 階級別	受診者別 データ	検診機関別	過去3年間 受診歴別	過去3年間 受診歴記録	要精検者数	要精検率	全国 比較	要精検者数	要精検率	全国 比較	要精検者数	要精検率	全国 比較		要精検率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	
21	○		○	○	○	○	○				1,380	47.2%	高い					・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。	○	○	
22		○	○	○			○	327	12.7%	高い	291	20.1%	高い					・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	
23		○	○	○	○		○	2,770	24.3%	高い								・がん発見率が高い。	○	○	○
24			○	○	○		○	832	11.6%	高い								・該当なし	○	○	○
25	○		○	○	○		○	150	9.6%	未滿								・該当なし	○	○	○
26	○	○	○	○		○	○	444	7.3%	未滿								・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。 ・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	
27			○	○	○	○	○	181	13.1%	高い								・がん発見率が高い。	○	○	○
28			○	○	○	○	○	187	7.0%	未滿								・がん発見率が低い。	○	○	○
29	○	○	○	○	○			363	11.0%	同値									○	○	○
30			○	○	○			198	14.7%	高い								・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○

区市町村 (No)	(2)胃部エックス線撮影精度管理				(2)胃部エックス線読影精度管理				4受診者への説明(区市町村実施)				4受診者への説明(医療機関実施) (満たしている機関/検診実施機関)				5 精検受診率と受診勧奨				
	撮影機器の 種類	撮影枚数 7枚以上	日本消化器がん 検診学会基準を 満たした方法	造影剤副作 用に留意	撮影技師の 認定取得	2名以上の 医師で読影	比較読影	3年間保存	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検 受診率	全国 比較
21									○	○	○	○									
22	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	2/2	1/2	区で保存	○	○	○	○	1/1				0	117	210	64.2%	未滿
23	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1	89	471	2,210	79.8%	以上
24	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	0/1	1/1	5	57	770	92.5%	以上
25	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1	6	8	136	90.7%	以上
26	4/5	5/5	4/5	5/5	1/4	1/5	5/5	5/5	○				3/5	5/5	5/5	4/5	5	411	28	6.3%	未滿
27	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1	0	41	140	77.3%	以上
28	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1	0	43	144	77.0%	以上
29	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1	18	12	333	91.7%	以上
30	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	0/1	1/1	○	○	○	○					0	70	128	64.6%	未滿

区市町村 (No)	5 精検受診率と受診勧奨(ペプシノーゲン)					5 精検受診率と受診勧奨(胃内視鏡検査)					分析	対策I		対策
	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検 受診率	全国 比較	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検 受診率	全国 比較		精検結果把握の方法について 対策	都への要望	
21	0	459	921	66.7%	未満						・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。	・一次検診受診者が指定外医療機関で精検受診した場合も結果を報告してくれるよう医療機関に周知する。	精検結果把握が検診精度管理上重要なことをPRして欲しい。	
22	0	139	152	52.2%	未満						・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。	・精検未把握者に精検受診の有無及び結果を返信ハガキにて回答させる。		
23														
24														
25														
26											・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。	・委託先から精検結果情報を収集する。		
27														
28														
29														
30											・検診実施機関、精検実施機関との情報提供体制ができていない。	・21年度は個別に確認を行っている。		

区市町村 (No)	2 都への要望
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	

区市町村 (No)	対策3	集計作業(精検受診率)			集計作業(精検未受診率と受診勧奨)				集計作業(精検結果未把握率)			6 がん発見率			6 がん発見率(ペプシノーゲン)			6 がん発見率(胃内視鏡検査)		
	精検結果把握の方法について 特別な対策	精検受診率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	精検 未受診率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診勧奨	未把握率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較
21		○	○		○	○		○	○	○					11	0.38%	以上			
22		○	○		○			○				2	0.08%	未満	1	0.07%	未満			
23	*特になし	○	○	○	○	○	○		○	○	○	19	0.17%	以上						
24		○	○	○				○	○	○	○	7	0.10%	未満						
25	*精密検査の結果を、委託料を支払って報告してもらっている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4	0.26%	以上						
26		○	○		○	○			○			0	0.00%	未満						
27	*返送用封筒を一緒に渡し医療機関から、直接市に郵送してもらっている。	○	○	○					○	○	○	2	0.15%	以上						
28		○	○	○	○	○	○		○	○	○	2	0.07%	未満						
29	*精密検査結果を医療機関から市へ報告。 →一次検査結果を送付する際に精検結果を記入してもらうアンケートを送付、返信ない場合には電話で状況確認。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	0.39%	以上						
30		○	○	○					○		○	1	0.07%	未満						

区市町村 (No)	分析	集計作業(がん発見率)				集計作業(早期がん割合)				7 陽性反応適中度		7 陽性反応適中度 (ペプシノーゲン)		7 陽性反応適中度 (胃内視鏡検査)		分析	集計作業(陽性反応適中度)			
		がん発見率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度把握		性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	
21		○	○			○					0.80%	未満				・検査方法がペプシノーゲン法であり、要精 検率が高いため。	○	○		
22	・精検未把握者が多い。 ・精検受診率が許容値と比較して低い。	○									0.61%	未満	0.34%	未満		・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、 項目が満たされていない医療機関(検査 委託機関)がある。 ・精検受診率が低い。	○			
23		○	○	○							0.69%	未満				・がん有病率が高い年齢階級の受診者 が少ない。	○	○	○	
24	・受診者の年齢階級で、有病率の低い年 齢階級の受診者が多い。	○	○	○							0.84%	未満				・がん有病率が高い年齢階級の受診者 が少ない。	○	○	○	
25		○	○	○							2.67%	以上					○	○	○	
26	・初回受診者(過去3年以内に各がん検 診の受診歴のない者)が少ない。 ・精検受診率が許容値と比較して低い。	○	○								0.00%	未満				・初回受診者(過去3年以内に各がん検 診の受診歴のない者)が少ない。 ・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、 項目が満たされていない医療機関(検査 委託機関)がある。 ・精検受診率が低い。	○			
27		○	○	○							1.10%	以上					○	○	○	
28	・受診者の年齢階級で、有病率の低い年 齢階級の受診者が多い。	○	○	○	○						1.07%	以上					○	○	○	○
29		○	○	○							3.58%	以上					○		○	
30	・精検受診率が許容値と比較して低い。	○	○	○							0.51%	未満				・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、 項目が満たされていない医療機関(検査 委託機関)がある。 ・精検受診率が低い。	○			

区市町村 (No)	課題等	備考	備考 (点検表)	備考欄 (町村 5年分受診者数)
21	・検診方法の検討 ・対象年齢の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・要精検受診結果の把握			
22	・検診方法の検討 ・対象年齢の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討 ・要精検受診結果の把握			
23	・対象年齢の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関の要精検判定基準の把握			
24	・対象年齢の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・一次検診受診時の説明 ・受診者特性の検討 ・検診機関の要精検判定基準の把握			
25	・対象年齢の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上			
26	・対象年齢の検討 ・検診機関精度管理の検討 ・一次検診受診時の説明 ・要精検受診結果の把握			
27	・対象年齢の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上			
28	・対象年齢の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・受診者特性の検討			
29	・対象年齢の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上			
30	・対象年齢の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討 ・要精検受診結果の把握			

区市町村 (No)	1 検査方法及び対象											2 受診率				
	胃部エックス線	対象	ペプシノーゲン	対象	胃部エックス線+ ペプシノーゲン	対象	胃内視鏡	対象	胃部エックス線 +胃内視鏡	対象	その他 (検診方法名)	対象	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較
31	○	30歳以上											63,230	16,777	26.5%	以上
32	○	35歳以上											127,657	2,853	2.2%	未滿
33	○	35歳以上											33,582	1,475	4.4%	未滿
34	○	35歳以上											54,622	3,170	5.8%	未滿
35	○	35歳以上											52,782	2,171	4.1%	未滿
36	○	35歳以上											46,590	1,640	3.5%	未滿
37	○	30歳以上											32,514	1,874	5.8%	未滿
38	○	35歳以上											22,332	498	2.2%	未滿
39	○	35歳以上											18,838	435	2.3%	未滿
40	○	35歳以上(男性) 30歳以上(女性)											23,488	926	3.9%	未滿

区市町村 (No)	2 受診率(ペプシノーゲン)				2 受診率(胃内視鏡検査)				分 析	対策1		対策2	
	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較		受診率が低い集団に対する 対策	都への要望	受診率向上に向けた全体的な 対策	都への要望
31										・市報やホームページを充実し、周知を徹底する。	・40歳から50歳代の受診率が低い。職域で受ける受診率の把握をして欲しい。		
32								・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・30歳の節目年齢者へがん検診のご案内を個別通知する予定。	・ポスターや広報の充実。 ・がん検診についての補助金。			
33								・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。				・補助金の創設。	
34								・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。			・受診の日時等の案内(申込はがき付)の全戸配布。		
35								・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・40歳代の受診者が少ないので、40歳の市民に受診勧奨通知を送る。				
36								・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・20年度は世帯に保健事業一覧表を配布。21年度、健康ガイドと改訂し、がん検診事業の情報の伝え方を工夫する。窓口・ちらし等で受診勧奨を実施。 ・休日実施と地域出張検診を継続。アクセスの悪い地域で新規実施。	・勧奨通知用郵送料の補助をお願いしたい。			
37								・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・これまで一度も受診したことのない対象者への個別勧奨、利便性の確保。	・受診の利便性確保のための、医師会等への協力要請。			
38								・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。 ・定員が決まっている。			・検討中。		
39								・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。 ・地域別に、受診率が低い地域がある。					
40								・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・広報などによるPRの工夫。 ・定員増の検討。				

区市町村 (No)	(1)集計作業(検診対象者)		(2)集計作業(受診者の情報管理)					3 要精検率			3 要精検率(ペプシノーゲン)			3 要精検率(胃内視鏡検査)			分析	(1)集計作業(要精検率)				
	台帳作成	均等な 受診勧奨	性・年齢 階級別	受診者別 データ	検診機関別	過去3年間 受診歴別	過去3年間 受診歴記録	要精検者数	要精検率	全国 比較	要精検者数	要精検率	全国 比較	要精検者数	要精検率	全国 比較		要精検率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別		
31			○	○		○	○	1,408	8.4%	未滿									・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○		
32			○	○	○	○	○	205	7.2%	未滿									・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。 ・がん発見率が低い。	○		
33		○	○	○	○	△ (過去2年間 のみ)		204	13.8%	高い									・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・がん発見率が高い。	○	○	○
34		○	○	○	○			410	12.9%	高い									・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。	○		○
35	○		○		○			235	10.8%	未滿									・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。	○	○	○
36	○	○	○	○	○	○	○	196	12.0%	高い									・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・がん発見率が高い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○
37			○	○	○			344	18.4%	高い									・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・がん発見率が高い。	○	○	○
38		○	○	○	○		○	55	11.0%	同値										○	○	○
39		○		○	○		○	40	9.2%	未滿									・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○		
40			○	○	○			97	10.5%	未滿									・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・がん発見率が低い。	○	○	○

区市町村 (No)	(2)胃部エックス線撮影精度管理				(2)胃部エックス線読影精度管理				4受診者への説明(区市町村実施)				4受診者への説明(医療機関実施) (満たしている機関/検診実施機関)				5 精検受診率と受診勧奨				
	撮影機器の 種類	撮影枚数 7枚以上	日本消化器がん 検診学会基準を 満たした方法	造影剤副作 用に留意	撮影技師の 認定取得	2名以上の 医師で読影	比較読影	3年間保存	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検 受診率	全国 比較
31	4/5	4/5	5/5	5/5	2/4	4/5	0/5	5/5	○	○		○	4/5	3/5	5/5	5/5	108	303	997	70.8%	以上
32	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1	0	79	126	61.5%	未満
33	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	0/1	1/1	1/1	0	27	177	86.8%	以上
34	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	○	○			1/1		1/1	1/1	32	0	378	92.2%	以上
35	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1	45	0	190	80.9%	以上
36	1/2	1/2	1/2	1/2	1/2	1/2	1/2	1/2					1/2	1/2	1/2	1/2	17	2	177	90.3%	以上
37	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1	0	103	241	70.1%	以上
38	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	○	○		○	1/1	1/1	1/1	1/1	2	0	53	96.4%	以上
39	1/1	1/1	1/1	1/1	0/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1	0	12	28	70.0%	以上
40	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	0/1	1/1	0	37	60	61.9%	未満

区市町村 (No)	5 精検受診率と受診勧奨(ペプシノーゲン)					5 精検受診率と受診勧奨(胃内視鏡検査)					分 析	対策I		対策
	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検 受診率	全国 比較	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検 受診率	全国 比較		精検結果把握の方法について 対策	都への要望	
31														
32											・検診実施機関、精検実施機関との情報 提供体制ができていない。 ・要精検者にアンケート送付しているが返 送がない場合がある。	・要精検者へ結果報告用のアンケー トを送付。		
33														
34														
35														
36														
37														
38														
39														
40											・検診実施機関、精検実施機関との情報 提供体制ができていない。	・電話や文書による把握方法の検 討。		

区市町村 (No)	2 都への要望
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	

区市町村 (No)	対策3 精検結果把握の方法について 特別な対策	集計作業(精検受診率)			集計作業(精検未受診率と受診勧奨)				集計作業(精検結果未把握率)			6 がん発見率			6 がん発見率(ペプシノーゲン)			6 がん発見率(胃内視鏡検査)			
		精検受診率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	精検 未受診率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診勧奨	未把握率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	
31	・未把握者に対し、電話での追跡調査の強化。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	31	0.18%	以上						
32		○											2	0.07%	未満						
33		○	○										2	0.14%	以上						
34	・精密検査の助成金を出しており、それを請求する時に結果を把握できる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6	0.19%	以上						
35	・精検医療機関から結果を報告してもらう。 ・未受診者には保健師から電話連絡をする。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5	0.23%	以上						
36	・市内の医療機関及び施設(文書契約)での精検結果については、文書で結果報告を受けている。(施設のみ契約)他医療機関の場合、本人へ文書又は電話による追跡を実施し把握している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2	0.12%	以上						
37		○	○	○									5	0.27%	以上						
38	・個別電話勧奨。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5	1.00%	以上						
39	・精検者に対する個別電話フォロー。 ・胃がんについての健康教育(検診の必要性について)。	○											1	0.23%	以上						
40		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	0	0.00%	未満						

区市町村 (No)	分析	集計作業(がん発見率)				集計作業(早期がん割合)				7 陽性反応適中度		7 陽性反応適中度 (ペプシノーゲン)		7 陽性反応適中度 (胃内視鏡検査)		分析	集計作業(陽性反応適中度)			
		がん発見率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度把握		性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	
31		○							2.20%	以上							○	○		
32	・受診者の年齢階級で、有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。 ・精検受診率が許容値と比較して低い。	○							0.98%	未滿							○			
33		○							0.98%	未滿							○			
34		○	○						1.46%	以上							○	○		
35		○	○	○					2.13%	以上							○	○	○	
36		○	○	○	○	○	○	○	1.02%	以上							○	○	○	○
37		○	○	○					1.45%	以上							○			
38		○	○		○				9.09%	以上							○			
39		○							2.50%	以上							○			
40	・受診者の年齢階級で、有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・精検受診率が許容値と比較して低い。	○	○	○					0.00%	未滿							○			

区市町村 (No)	課題等	備考	備考 (点検表)	備考欄 (町村 5年分受診者数)
31	・対象年齢の検討 ・検診機関精度管理の検討			
32	・対象年齢の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・要精検受診結果の把握 ・受診者特性の検討			
33	・対象年齢の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・一次検診受診時の説明 ・検診機関の要精検判定基準の把握			
34	・対象年齢の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上			
35	・対象年齢の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上			
36	・対象年齢の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討 ・一次検診受診時の説明		・1機関未回収	
37	・対象年齢の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上			
38	・対象年齢の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上			
39	・対象年齢の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討			
40	・対象年齢の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・一次検診受診時の説明 ・要精検受診結果の把握 ・受診者特性の検討			

区市町村 (No)	1 検査方法及び対象											2 受診率				
	胃部エックス線	対象	ペプシノーゲン	対象	胃部エックス線+ ペプシノーゲン	対象	胃内視鏡	対象	胃部エックス線 +胃内視鏡	対象	その他 (検診方法名)	対象	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較
41	○	35歳以上											25,528	725	2.8%	未満
42	○	35歳以上											23,324	832	3.6%	未満
43	○	40歳以上											37,806	1,033	2.7%	未満
44	○	30歳以上											21,110	1,099	5.2%	未満
45	○	40歳以上											44,724	1,320	3.0%	未満
46	○	35歳以上											23,881	800	3.3%	未満
47	○	40歳以上											17,068	1,321	7.7%	未満
48	○	35歳以上											25,719	3,667	14.3%	以上
49	○	30歳以上											59,272	2,569	4.3%	未満
50	○	40歳以上											10,461	434	4.1%	未満

区市町村 (No)	2 受診率(ペプシノーゲン)				2 受診率(胃内視鏡検査)				分 析	対策1		対策2	
	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較		受診率が低い集団に対する 対策	都への要望	受診率向上に向けた全体的な 対策	都への要望
41									・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。			・定員増に伴う予算の確保。	
42									・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。			・ハガキでの申し込み。 ・対象枠の拡大。 ・節目年齢対象者への個別通知。 ・検診PR活動。	・検診の必要性等、国や都レベルでのPRに努めてもらいたい。
43									・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・健康増進計画で健康づくり推進員によるPR。 ・広報紙一面に掲載。 ・集団検診実施場所の増加。			
44									・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。 ・地域別に、受診率が低い地域がある。	・若い世代へのPR強化。 ・予算の確保。 ・有料化等。			
45									・定員制の集団検診として実施。			・現在定員制の集団検診で実施。いつも定員一杯の申し込みがあり、対策は考えていない。	
46									・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・なし			
47									・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。			・広報などによる受診勧奨の強化。	
48													
49									・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。			・申込み期間の拡大。	
50									・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・定員の増加。			

区市町村 (No)	(1)集計作業(検診対象者)		(2)集計作業(受診者の情報管理)					3 要精検率			3 要精検率(ペプシノーゲン)			3 要精検率(胃内視鏡検査)			分析	(1)集計作業(要精検率)			
	台帳作成	均等な 受診勧奨	性・年齢 階級別	受診者別 データ	検診機関別	過去3年間 受診歴別	過去3年間 受診歴記録	要精検者数	要精検率	全国 比較	要精検者数	要精検率	全国 比較	要精検者数	要精検率	全国 比較		要精検率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	
41	○	○	○	○	○		○	88	12.1%	高い								・がん発見率が高い。	○	○	○
42		○	○	○	○			86	10.3%	未滿								・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。	○	○	○
43			○	○		○		52	5.0%	未滿								・該当なし	○		○
44			○					104	9.5%	未滿								・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。	○	○	
45		○	○	○	○		○	113	8.6%	未滿								・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。	○		○
46		○	○	○	○	○	○	82	10.3%	未滿								・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。	○	○	○
47			○	○	○			160	12.1%	高い								・該当なし	○	○	○
48		○	○		○			236	6.4%	未滿								・がん発見率が低い。	○	○	○
49			○	○	○		○	282	11.0%	同値									○	○	○
50		○	○	○	○			147	7.8%	未滿								・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。	○	○	○

区市町村 (No)	(2)胃部エックス線撮影精度管理				(2)胃部エックス線読影精度管理				4受診者への説明(区市町村実施)				4受診者への説明(医療機関実施) (満たしている機関/検診実施機関)				5 精検受診率と受診勧奨				
	撮影機器の 種類	撮影枚数 7枚以上	日本消化器がん 検診学会基準を 満たした方法	造影剤副作 用に留意	撮影技師の 認定取得	2名以上の 医師で読影	比較読影	3年間保存	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検 受診率	全国 比較
41	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	○	○	○		1/1	1/1	1/1	1/1	7	9	72	81.8%	以上
42	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	○				2/2	1/2	2/2	2/2	1	15	70	81.4%	以上
43	1/1	1/1	1/1	1/1	0/1	0/1	0/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1	1	5	46	88.5%	以上
44	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2					2/2	1/2	2/2	2/2	7	17	80	76.9%	以上
45	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	○	○	○	○	1/1	1/1	1/1	1/1	0	14	99	87.6%	以上
46	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1	7	18	57	69.5%	未満
47	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	○	○	○	○	1/1	0/1	0/1	0/1	0	48	112	70.0%	以上
48	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2					2/2	2/2	2/2	2/2	14	18	204	86.4%	以上
49	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1	0	98	184	65.2%	未満
50	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1	9	4	134	91.2%	以上

区市町村 (No)	2 都への要望
41	
42	
43	
44	
45	
46	
47	
48	
49	
50	

区市町村 (No)	対策3	集計作業(精検受診率)			集計作業(精検未受診率と受診勧奨)				集計作業(精検結果未把握率)			6 がん発見率			6 がん発見率(ペブシノーゲン)			6 がん発見率(胃内視鏡検査)		
	精検結果把握の方法について 特別な対策	精検受診率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	精検 未受診率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診勧奨	未把握率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較
41	・要精検者追跡調査。 ・検診委託先からの結果把握。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	0.14%	以上						
42	・検診機関が受診者の了解のもと精検結果を市に報告。報告がない場合は、文書又は電話にて結果把握に努める。	○	○		○			○	○	○		1	0.12%	以上						
43	・医療機関で受けた一次結果を市で把握。 ・要精検者へ個別に通知し、精検結果を把握。 ・個別通知が未返信の方には電話にてフォローし、受診勧奨を行っている。	○		○	○			○				2	0.19%	以上						
44		○	○		○	○		○	○	○		4	0.36%	以上						
45	・精検対象者に結果通知と一緒に受診勧奨の文書及び結果を記入するアンケートを同封。 ・一定期間にアンケートの返信がない場合、受診確認及び勧奨をしている。	○		○				○				3	0.23%	以上						
46		○						○				4	0.50%	以上						
47		○	○	○	○	○	○	○	○	○		1	0.08%	未滿						
48		○	○	○	○	○	○	○	○	○		0	0.00%	未滿						
49		○		○								3	0.12%	以上						
50	・本人への精密検査受診の有無の確認に加え、精密検査結果通知の契約を結んでいる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○		4	0.21%	以上						

区市町村 (No)	分析	集計作業(がん発見率)				集計作業(早期がん割合)				7 陽性反応適中度		7 陽性反応適中度 (ペプシノーゲン)		7 陽性反応適中度 (胃内視鏡検査)		分析	集計作業(陽性反応適中度)			
		がん発見率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度把握		性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	
41		○	○	○					1.14%	以上							○	○	○	
42		○	○						1.16%	以上							○	○		
43		○							3.85%	以上							○			
44		○	○						3.85%	以上							○	○		
45		○		○					2.65%	以上							○		○	
46		○							4.88%	以上							○			
47	・受診者の年齢階級で、有病率の低い年齢階級の受診者が多い。	○	○	○					0.63%	未滿							○	○	○	
48	・受診者の年齢階級で、有病率の低い年齢階級の受診者が多い。	○	○	○					0.00%	未滿							○	○	○	
49		○		○					1.06%	以上							○	○		
50		○	○	○					2.72%	以上							○	○	○	

区市町村 (No)	課題等	備考	備考 (点検表)	備考欄 (町村 5年分受診者数)
41	・対象年齢の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上			
42	・対象年齢の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・一次検診受診時の説明			
43	・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討			
44	・対象年齢の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・一次検診受診時の説明			
45	・がん検診の必要性周知と受診率の向上			
46	・対象年齢の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・要精検受診結果の把握			
47	・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・受診者特性の検討 ・検診機関の要精検判定基準の把握			
48	・対象年齢の検討 ・受診者特性の検討 ・検診機関の要精検判定基準の把握			
49	・対象年齢の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・要精検受診結果の把握			
50	・がん検診の必要性周知と受診率の向上			1885

区市町村 (No)	1 検査方法及び対象											2 受診率				
	胃部エックス線	対象	ペプシノーゲン	対象	胃部エックス線+ ペプシノーゲン	対象	胃内視鏡	対象	胃部エックス線 +胃内視鏡	対象	その他 (検診方法名)	対象	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較
51	○	40歳以上											5,586	423	7.6%	未満
52	○	18歳以上											1,220	182	14.9%	以上
53	○	30歳以上											2,804	280	10.0%	未満
54										○ 胃部エックス線 又は 胃内視鏡 (選択)	年齢制限なし	エックス線 又は 内視鏡 3,570	719	20.1%	以上	
55							○	希望者住民 全員 年齢制限なし								
56							○	年齢制限なし								
57							○	20歳以上								
58	○	40歳以上											1,277	257	20.1%	以上
59	○	35歳以上											85	39	45.9%	以上
60	○	40歳以上											3,559	383	10.8%	未満

区市町村 (No)	2 受診率(ペプシノーゲン)				2 受診率(胃内視鏡検査)				分 析	対策1		対策2	
	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較		受診率が低い集団に対する 対策	都への要望	受診率向上に向けた全体的な 対策	都への要望
51									・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・町の広報誌での複数月の掲載協議とポスターによるPR強化。			
52										・がん及びがん検診についての普及啓発活動をより積極的に実施し、都民の方々のがん検診に対する意識を高めてもらいたい。			・都内や東京都近郊の自治体にある検診実施機関でならば、何処でもがん検診を受けられるような制度を作っていたら、受診者の利便性が高まると思われる。 ・がん検診の受診率向上に対する取り組みや、成功・失敗事例などを研究会や講演会を通じて紹介して欲しい。
53									・受診定員に制限がある。 ・人口の高齢化。				
54													
55					112	61	54.5%	以上					
56					1,288	199	15.5%	以上					
57					783	142	18.1%	以上					
58													
59													
60									・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・がん検診の趣旨普及に努める。			

区市町村 (No)	(1)集計作業(検診対象者)		(2)集計作業(受診者の情報管理)					3 要精検率			3 要精検率(ペプシノーゲン)			3 要精検率(胃内視鏡検査)			分析	(1)集計作業(要精検率)			
	台帳作成	均等な 受診勧奨	性・年齢 階級別	受診者別 データ	検診機関別	過去3年間 受診歴別	過去3年間 受診歴記録	要精検者数	要精検率	全国 比較	要精検者数	要精検率	全国 比較	要精検者数	要精検率	全国 比較		要精検率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	
51		○	○		○			91	3.4%	未満								・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・がん発見率が低い。	○	○	○
52	○		○	○	○		○	86	9.3%	未満								・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○		
53		○	○	○	○		○	101	8.5%	未満								・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。	○		
54		○	○	○	○			459	13.9%	高い								・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。	○	○	○
55														22	7.6%	未満		・がん発見率が低い。	○		
56			○											14	2.1%	未満		・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。	○	○	
57														42	5.4%	未満		・該当なし	○		
58	○	○						23	3.0%	未満								・該当なし	○		○
59	○	○	○	○	○	○	○	8	5.1%	未満								・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。 ・がん発見率が低い。	○	○	○
60			○				○	112	5.7%	未満								・がん発見率が低い。	○	○	

区市町村 (No)	(2)胃部エックス線撮影精度管理				(2)胃部エックス線読影精度管理				4受診者への説明(区市町村実施)				4受診者への説明(医療機関実施) (満たしている機関/検診実施機関)				5 精検受診率と受診勧奨				
	撮影機器の 種類	撮影枚数 7枚以上	日本消化器がん 検診学会基準を 満たした方法	造影剤副作 用に留意	撮影技師の 認定取得	2名以上の 医師で読影	比較読影	3年間保存	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検 受診率	全国 比較
51	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1	2	25	64	70.3%	以上
52	2/2	2/2	2/2	2/2	1/2	1/2	2/2	2/2					2/2	2/2	2/2	2/2	4	7	75	87.2%	以上
53	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1	13	15	73	72.3%	以上
54	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1	40	30	389	84.7%	以上
55													1/1	0/1	1/1	0/1					
56													1/1	1/1	1/1	1/1					
57													1/1	1/1	1/1	1/1					
58	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1	10	6	7	30.4%	未滿
59	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	○	○	○					1/1	1	3	4	50.0%	未滿
60	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	○					1/1	1/1	1/1	4	36	72	64.3%	未滿

区市町村 (No)	5 精検受診率と受診勧奨(ペプシノーゲン)					5 精検受診率と受診勧奨(胃内視鏡検査)					分析	対策I		対策
	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検 受診率	全国 比較	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検 受診率	全国 比較		精検結果把握の方法について 対策	都への要望	
51														
52													・精検結果把握の方法について、具体的な方法や成功・失敗事例を研修会などで教えて欲しい。	
53														
54														
55						0	21	1	4.5%	未満	・精密検査先病院が把握できない。	・島という環境で上京受診となる。本人へ事後後追い確認していく。検査委託先は医療実施なしのため、他医療機関の受診が必要となる。		
56						0	0	14	100.0%	以上				
57						0	30	12	28.6%	未満	・該当なし	・個別に電話で確認し把握する。		
58											・受診しない理由が明らかになっていない。		・電話及び訪問による個別アプローチ。	
59											・情報提供体制はできているが、国への報告時期までに、精検結果について情報が得られない。			
60											・情報提供体制はできているが、国への報告時期までに、精検結果について情報が得られない。	・精検者に対し受診状況及び結果の報告を依頼する。		

区市町村 (No)	2 都への要望
51	
52	
53	
54	
55	
56	
57	
58	
59	
60	

区市町村 (No)	対策3	集計作業(精検受診率)			集計作業(精検未受診率と受診勧奨)				集計作業(精検結果未把握率)			6 がん発見率			6 がん発見率(ペブシノーゲン)			6 がん発見率(胃内視鏡検査)		
	精検結果把握の方法について 特別な対策	精検受診率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	精検 未受診率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診勧奨	未把握率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較
51		○	○	○				○				1	0.04%	未満						
52	・個別訪問をして確認をしている。	○						○	○			2	0.22%	以上						
53		○			○	○	○		○	○	○	2	0.17%	以上						
54		○	○	○	○	○	○		○	○	○	10	0.30%	以上						
55		○															0	0.00%	未満	
56		○						○									1	0.15%	以上	
57		○															1	0.13%	以上	
58		○										2	0.26%	以上						
59		○						○				0	0.00%	未満						
60		○	○									1	0.05%	未満						

区市町村 (No)	分析	集計作業(がん発見率)				集計作業(早期がん割合)				7 陽性反応適中度		7 陽性反応適中度 (ペプシノーゲン)		7 陽性反応適中度 (胃内視鏡検査)		分析	集計作業(陽性反応適中度)			
		がん発見率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度把握		性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	
51	・受診者の年齢階級で、有病率の低い年齢階級の受診者が多い。	○	○	○					1.10%	以上							○	○	○	
52		○							2.33%	以上							○			
53		○							1.98%	以上							○			
54		○	○	○					2.18%	以上							○			
55	・受診者数が少ないため。	○											0.00%	未滿	・受診者数が少ないため。		○			
56		○											7.14%	以上			○			
57	・精検受診率が許容値と比較して低い。	○											2.38%	以上			○			
58		○							8.70%	以上							○			
59	・受診者の年齢階級で、有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。 ・人口が少ないのがん発見率が低くなる。 ・精検受診率が許容値と比較して低い。	○							0.00%	未滿					・がん有病率が高い年齢階級の受診者が少ない。 ・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。 ・がん発見率が低い。 ・精検受診率が低い。		○			
60	・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。	○	○						0.89%	未滿					・がん発見率が低い。 ・精検受診率が低い。		○	○		

区市町村 (No)	課題等	備考	備考 (点検表)	備考欄 (町村 5年分受診者数)
51	・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・受診者特性の検討			2641
52	・対象年齢の検討 ・検診機関精度管理の検討			922
53	・対象年齢の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上			1184
54	・検診方法の検討 ・対象年齢の検討			3297
55	・検診方法の検討 ・対象年齢の検討 ・一次検診受診時の説明 ・要精検受診結果の把握			291
56	・検診方法の検討 ・対象年齢の検討 ・データの蓄積	・過去3年間分(H18・19・20年度) の結果を集計		672 (3年間分受診者数)
57	・検診方法の検討 ・対象年齢の検討 ・要精検受診結果の把握			776
58	・精検未受診理由把握と精検受診率の向上 ・データの蓄積	・過去3年間分(H18・19・20年度) の結果を集計		776 (3年間分受診者数)
59	・対象年齢の検討	・精検受診把握の情報提供体制 はできているが、報告時期までに 情報が得られない		158
60	・がん検診の必要性周知と受診率の向上	・精検受診把握の情報提供体制 はできているが、報告時期までに 情報が得られない		1955

区市町村 (No)	2 受診率(ペプシノーゲン)				2 受診率(胃内視鏡検査)				分 析	対策1		対策2	
	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較		受診率が低い集団に対する 対策	都への要望	受診率向上に向けた全体的な 対策	都への要望
61					64	11	17.2%	以上					
62					704	203	28.8%	以上					

区市町村 (No)	(1)集計作業(検診対象者)		(2)集計作業(受診者の情報管理)					3 要精検率			3 要精検率(ペプシノーゲン)			3 要精検率(胃内視鏡検査)			分析	(1)集計作業(要精検率)		
	台帳作成	均等な 受診勧奨	性・年齢 階級別	受診者別 データ	検診機関別	過去3年間 受診歴別	過去3年間 受診歴記録	要精検者数	要精検率	全国 比較	要精検者数	要精検率	全国 比較	要精検者数	要精検率	全国 比較		要精検率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別
61	○			○										0	0.0%	未滿	・受診者数が少ないため。	○		○
62	○	○	○	○	○	○	○							52	5.6%	未滿	・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。	○	○	○

区市町村 (No)	(2)胃部エックス線撮影精度管理				(2)胃部エックス線読影精度管理			4受診者への説明(区市町村実施)				4受診者への説明(医療機関実施) (満たしている機関/検診実施機関)				5 精検受診率と受診勧奨					
	撮影機器の 種類	撮影枚数 7枚以上	日本消化器がん 検診学会基準を 満たした方法	造影剤副作 用に留意	撮影技師の 認定取得	2名以上の 医師で読影	比較読影	3年間保存	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検 受診率	全国 比較
61													0/1	1/1	1/1	1/1					
62													0/1	1/1	1/1	1/1					

区市町村 (No)	5 精検受診率と受診勧奨(ペプシノーゲン)					5 精検受診率と受診勧奨(胃内視鏡検査)					分析	対策I		対策
	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検 受診率	全国 比較	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検 受診率	全国 比較		精検結果把握の方法について 対策	都への要望	精密検査を受けていない集団、 また受けない理由について 明らかにし、それに対する対策
61						0	0	0	0.0%	未満	・要精検者が0人であった。			
62						0	0	52	100.0%	以上				

区市町村 (No)	2
	都への要望
61	
62	

区市町村 (No)	対策3	集計作業(精検受診率)			集計作業(精検未受診率と受診勧奨)				集計作業(精検結果未把握率)			6 がん発見率			6 がん発見率(ペプシノーゲン)			6 がん発見率(胃内視鏡検査)		
	精検結果把握の方法について 特別な対策	精検受診率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	精検 未受診率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診勧奨	未把握率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較
61		○															0	0.00%	未満	
62	+検診機関が一機関のみである。	○	○	○	○	○	○										2	0.22%	以上	

区市町村 (No)	分析	集計作業(がん発見率)				集計作業(早期がん割合)				7 陽性反応適中度		7 陽性反応適中度 (ペプシノーゲン)		7 陽性反応適中度 (胃内視鏡検査)		分析	集計作業(陽性反応適中度)			
		がん発見率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度把握		性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	
61	・対象者・受診者が極めて少ないため。	○										0.00%	未滿	・対象者・受診者・要精検者とも少ない。	○					
62		○	○	○								3.85%	以上		○	○	○	○		

区市町村 (No)	課題等	備考	備考 (点検表)	備考欄 (町村 5年分受診者数)
61	・検診方法の検討 ・一次検診受診時の説明			71
62	・検診方法の検討 ・一次検診受診時の説明			928